

No.	601	<h1>レザークラフト</h1>			
概要	レザー(革)に模様を付けたり色を塗ったりして、オリジナル作品を制作する。				
内容	人数(人)	~40人	時間	2~3時間	
	対象	幼児以上	時期	通年	
	場所	創作室【第1・第2】			
	指導形態	自主活動 ・ 事前の説明のみ ・ 直接指導			
安全管理	引率者と担当職員による観察・指導				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 革の特性を活かし、自分なりの工夫や表現で制作することの楽しさや喜びを感じる。 ○ 互いの作品の工夫や表現を共有する。 				
準備	施設からの貸出	レザークラフト 用具一式 (画材含む。最大40セット、12班分)			
	団体で準備	*いずれかを選んで、事前に「教材等申込書」で注文。 ○ キーホルダー ○ コースター ○ 小銭入れ ○ 創作レザー			
	確認事項	教材の種類や活動人数などにより、活動時間が異なる。 各自が異なる教材で制作する場合も、制作過程が異なる部分がある。			

	内 容	留意事項
活動前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担当職員との打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいの共有 ・参加人数、グループ編成(1テーブル5~6人まで) ・安全管理 等 ○ 注文した教材の受け取り(事務室) <ul style="list-style-type: none"> ・種類と個数を確認し、研修場所に持って行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・引率者と担当職員が一緒に行く。 ○ 教材 <ul style="list-style-type: none"> ・返品可能(特別なものを除く)。
活動の説明	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員による説明 <ul style="list-style-type: none"> ・講師の紹介 ・めあて、安全上の注意 等 ○ 道具の準備 ○ 講師による説明 <ul style="list-style-type: none"> ・レザークラフトの基礎知識(革の特性、技法などの紹介) ・作り方 ・道具と画材の取り扱い方 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全上の注意 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴム板…重いので、持ち運び注意。 ・木づち…指を叩いたり、振り回さない。 ・染料 …服などに付くと落ちない。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作 <ol style="list-style-type: none"> 1) 打刻 <ul style="list-style-type: none"> ・レザーをぬらし、刻印棒で模様を打ち付ける。 2) 染色 <ul style="list-style-type: none"> ・色を付けて、ドライヤーで乾かす。 3) 色止め <ul style="list-style-type: none"> ・ニスを塗って、ドライヤーで乾かす。 4) 仕上げ① <ul style="list-style-type: none"> ・みがき布でみがいて、つやを出す。 5) 仕上げ② <ul style="list-style-type: none"> ・キーホルダー等…金具を付ける。 ・小銭入れ …縫い合わせる。 ・創作レザー…形を整える(切る、曲げる、折る)、貼り合わせる 等 ○ 片づけ、掃除 <ul style="list-style-type: none"> ・道具の返却、整頓 ・机、床、流し周辺の掃除 ○ ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞 ・感想 ○ 研修室の点検、退室 <ul style="list-style-type: none"> ・椅子を机の上に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・刻印の組合せを工夫することで、様々な模様を表現できる。 ・色の組合せや塗り方を変えることで、同じ模様でも異なる印象に仕上がる。 ・小銭入れの仕上げは講師が一人ずつ指導するため、時間がかかる。十分な時間を確保すること。